第80回福証IRフェアオンライン

2027年5月期 第1四半期決算説明資料

株式会社エムビーエス

2026年11月18日

東京証券取引所グロース／福岡証券取引所Q-board

証券コード1401

目次

会社概要・ビジネスモデル

業績

市場環境

当社の優位性と成長戦略

トピックス

会社概要

会社名	株式会社エムビーエス	
設立	1997年6月20日	
役員	代表取締役社長	山本 貴士
	取締役	松岡 弘晃
	取締役	高木 弘敬
	取締役	栗山 征樹
	取締役監査等委員	影山 祥玄
	取締役監査等委員	伊藤 尚毅
	取締役監査等委員	前田　隆
資本金	391,329千円	

本社所在地	山口県宇部市西岐波1173-162
拠点	関東東北／宮城、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川 中部近畿／石川、岐阜、静岡、愛知、滋賀、大阪、兵庫 中国四国／鳥取、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛 九　　州／福岡、熊本、大分
従業員数	108名
事業内容	住宅及び諸建造物の内外装リフォーム工事 その他リフォームに関するコンサルティング 機能性塗料の開発及び販売 建築工事業

（2026年8月時点）

経営理念

ドラマ化される会社にする

行動規範

一.　建設業界での「新たなる常識づくり」に対して興味と情熱を持ち誠意ある姿勢で仕事に努めること
一.　顧客満足を第一として、高品質な施工を適正価格にて提供すべく絶えず追及し研鑽し続けること
一.　事業に携わるすべての関係者が協調して運営にあたることを旨とすること

沿革

年	主なトピックス（支店開設）	年	主なトピックス（支店開設）
1993	山本貴士（現代表取締役社長）が足場業を個人創業	2013	（千葉支店開設）
1997	有限会社アクアビギを設立	2014	（周南支店、西東京支店開設）
1998	商号を有限会社エム･ビー･エスに変更し、外壁リフォームを開始	**2015**	・西日本高速道路㈱との共同特許取得（スケルトン） **・東京証券取引所マザーズ市場に株式上場（現グロース市場）** ・（埼玉支店、福山支店、下関支店、久留米支店開設）
2001	・株式会社エムビーエスに組織変更 ・特許取得（塗装面の補修方法）	2016	（名古屋支店、岡山支店開設）
2002	LIQUID PLASTICS Limited(英国)との特殊機能性塗料の取引を開始	2017	・パシフィックコンサルタンツ㈱との共同特許取得(スケルトン活用点検記録システム） ・本社および研究所移転（現住所） ・（浜松支店開設）
2004	（福岡支店開設）	2018	（神戸支店、熊本支店、仙台支店開設）
2005	**福岡証券取引所Q-Board市場に株式上場**	2019	・特許取得（スケルトン） ・（松山支店、北九州支店、宇都宮支店開設）
2006	・LIQUID PLASTICS Limited(英国)と日本国内における総販売代理店契約を締結 ・（東京支店開設）	2020	特許取得（スケルトン）
2008	スケルトン耐震防災コーティングNETIS登録	2023	・株式会社リグノマテリアと資本業務提携契約締結 ・（滋賀支店、高松支店、徳島支店開設）
2010	・スケルトンはく落防災コーティングNETIS登録 ・（大阪支店、広島支店開設）	2024	（岐阜支店、大分支店開設）
2011	（横浜支店開設）	2025	・ドーナッツロボティクス株式会社と資本業務提携契約締結 ・（金沢支店開設）
2012	超薄膜スケルトンはく落防災コーティングNETIS登録	2026	・T-oneクリアカラー工法NETIS登録 ・（米子支店開設）

ビジネスモデル

「ホームメイキャップ」というブランドを軸に事業展開



SDGsの取り組み

技術力の強化

・より良いものへ柔軟に進化させる
・先を見据えた新技術への挑戦
・技術で安全安心な暮らしを守る
・資格･免許取得サポートによるスキルアップ



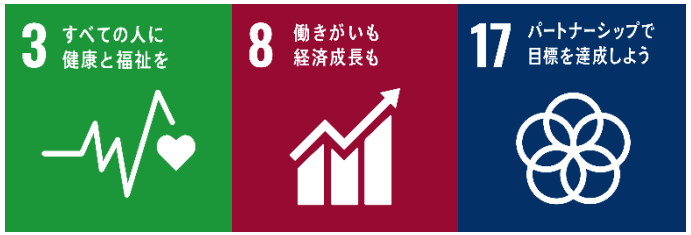
環境を守る技術

・長寿命化に適した技術の提供
・古き良きものを未来に残す
・ホームメイキャップで「列島リフォーム®」の実現



地域経済の活性化

・全国への広域展開で各地での営業基盤を構築
・50拠点展開に向けた積極的雇用への取り組み
・スポーツチームなどとのスポンサー契約
・イベントへの協賛
・中心市街地活性化への取り組み
・パートナーとのアライアンスによる受注構造



ホームメイキャップ事業

Home Makeup
Quality evolution theory.
（図形商標）
登録第4847736号

「ホームメイキャップ」というブランドを軸に事業展開

ホームメイキャップとは、当社独自の４つの施工技術により
劣化した建物の美観を再現し、環境への耐性を強化するサービスの総称

ホームメイキャップ

一般住宅・マンション・ビル等のリフォーム

クリア
コーティング施工

無色透明
コーティング



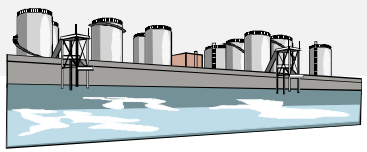
カラー
コーティング施工

美観蘇生
コーティング



応用／特殊
施工

クリア・カラー
コーティング施工
の技術を
応用した工法

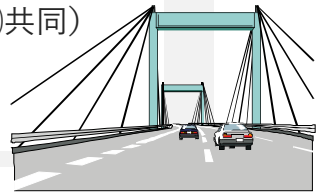


橋梁及び橋脚・トンネル等の補修

スケルトン防災コーティング施工

施工後もコンクリート表面が透けて見える
革新的な耐震補強・はく落防止工法

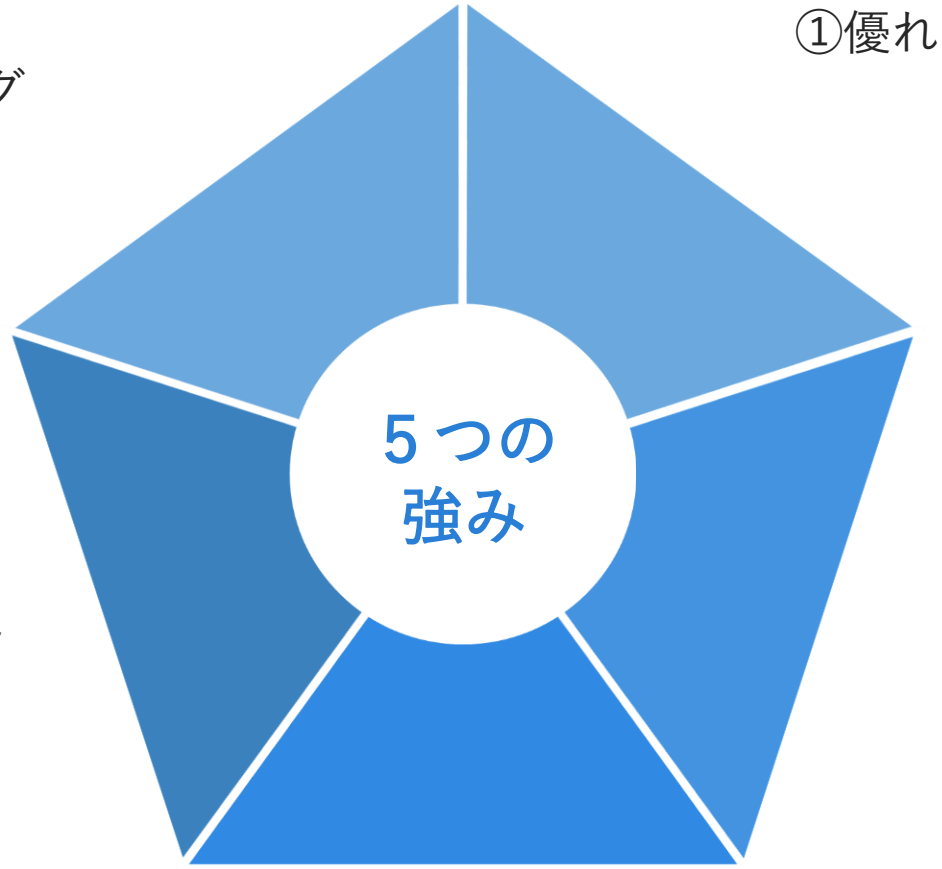
特許第5727708号（西日本高速道路㈱共同）
特許第6499891号
特許第6808354号



ホームメイキャップ事業の強み

⑤優れた防災機能を有する
スケルトン防災コーティング

①優れた機能性を有するコーティング材



④パートナーとの
アライアンスによる受注構造

②施工技術者の体系的な育成

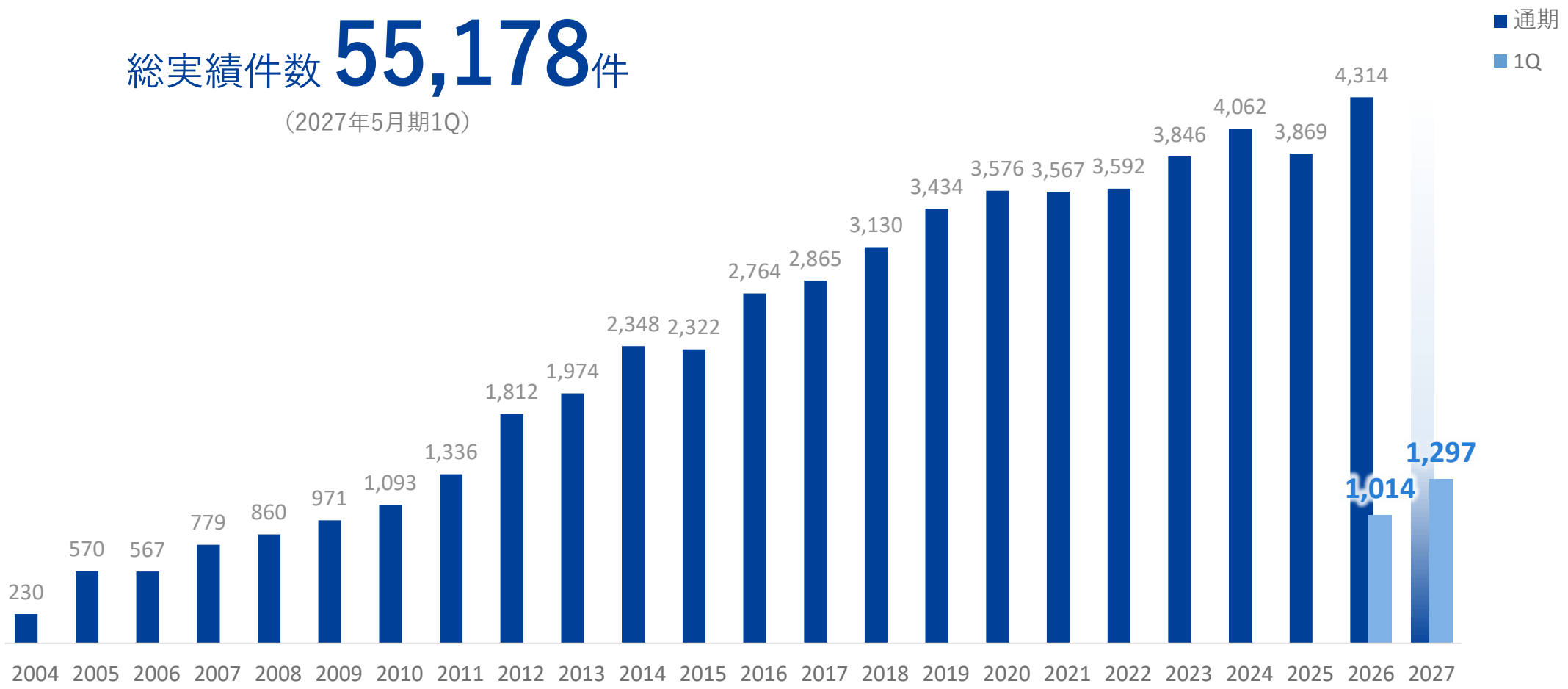
③ワンストップでの完全責任施工

ホームメイキャップ事業工事実績　－建築物工事実績件数推移－

実績件数は堅調に増加傾向にある

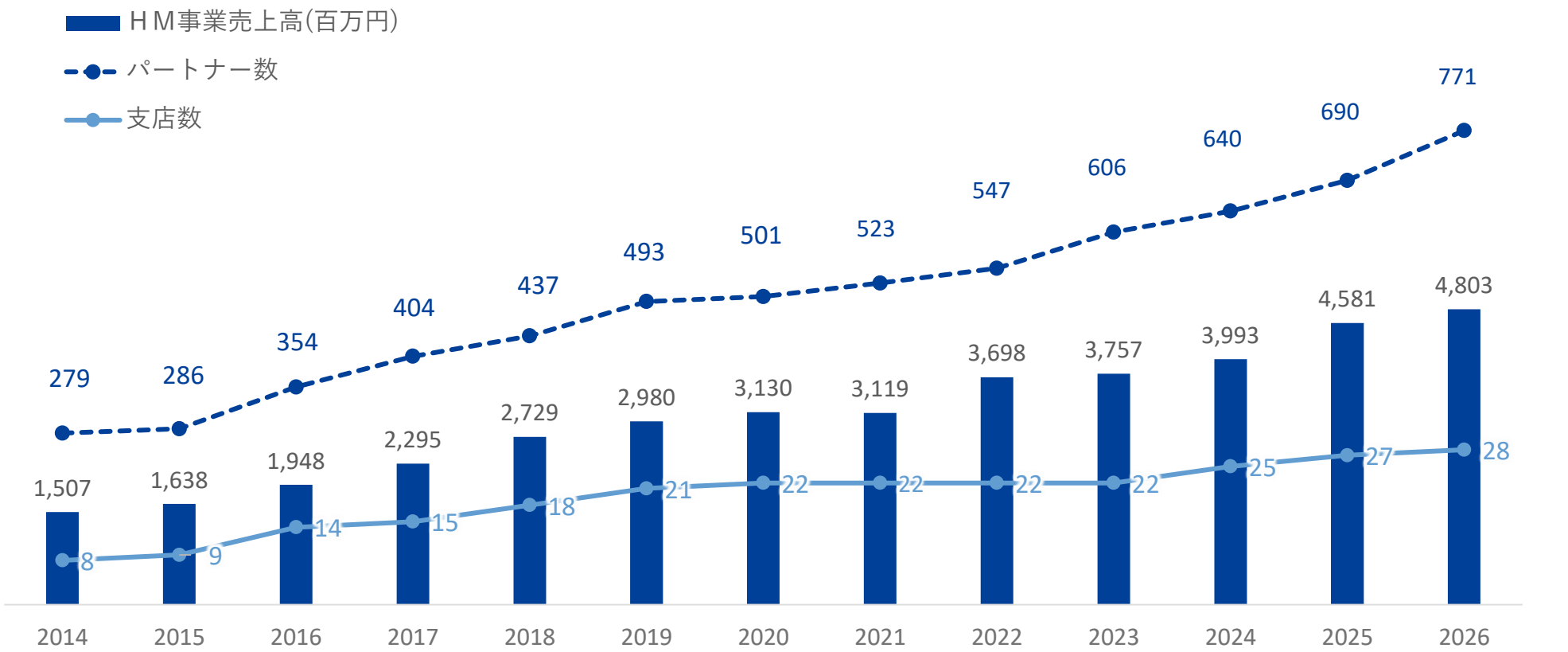
総実績件数 **55,178**件

（2027年5月期1Q）



ホームメイキャップ事業売上高推移および支店数・パートナー数推移

支店数およびパートナー数増加に伴い、ホームメイキャップ事業売上高も増加



（2026年5月期）

ホームメイキャップ事業工事実績　－スケルトン防災コーティング実績推移（インフラ）－

件数の着実な成長と、積み上がる施工実績（累計面積）

単年ごとの波を吸収し、累計施工面積・施工件数ともに強固な成長基盤を形成



	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
施工件数	15	7	16	18	48	52	64	78	128	82	109	156	158	161	179	186	209
単年面積（千㎡）	16	0.4	1.7	2.7	12.7	15.2	22.4	27.0	41.4	61.2	28.9	31.3	32.1	33.4	39.9	41.1	36.1

スケルトン防災コーティング実績

インフラ事業者（34社）

道路 (12)	東日本高速道路㈱、中日本高速道路㈱、西日本高速道路㈱ 中日本ロード・メンテナンス東京㈱ 西日本高速道路ファシリティーズ㈱ 西日本道路エンジニアリング四国㈱ 首都高速道路㈱、阪神高速道路㈱ 京都府道路公社、本州四国連絡高速道路㈱ 鹿児島県道路公社、福岡北九州高速道路公社
鉄道 (18)	北海道旅客鉄道㈱、東日本旅客鉄道㈱、東海旅客鉄道㈱、西日本旅客鉄道、九州旅客鉄道㈱ 東武鉄道㈱、西武鉄道㈱、東急電鉄㈱ 相模鉄道㈱、南海電気鉄道㈱ 京阪電気鉄道㈱、阪急電鉄㈱ 泉北高速鉄道㈱、秋田内陸縦貫鉄道㈱ しなの鉄道㈱、えちごトキめき鉄道㈱ IGRいわて銀河鉄道㈱、三陸鉄道
電力 (4)	北海道電力㈱、東北電力㈱ 関西電力㈱、九州電力㈱

都道府県別工事実績件数

（2026年5月期）

No.	件名	件数	No.	件名	件数
1	**北海道**	**248**	24	三重県	32
2	青森県	27	25	滋賀県	12
3	岩手県	59	26	京都府	66
4	宮城県	17	27	大阪府	120
5	秋田県	18	28	兵庫県	53
6	山形県	42	29	奈良県	16
7	福島県	21	30	和歌山県	15
8	茨城県	21	31	鳥取県	20
9	栃木県	12	32	島根県	8
10	群馬県	33	33	岡山県	30
11	埼玉県	35	34	広島県	61
12	千葉県	45	35	山口県	78
13	東京都	43	36	徳島県	3
14	神奈川県	39	37	香川県	3
15	新潟県	49	38	愛媛県	15
16	富山県	14	39	高知県	7
17	石川県	15	40	福岡県	35
18	福井県	27	41	佐賀県	9
19	山梨県	23	42	長崎県	6
20	長野県	19	43	熊本県	19
21	岐阜県	22	44	大分県	30
22	静岡県	66	45	宮崎県	7
23	愛知県	105	46	鹿児島県	16
			47	沖縄県	5

目次

会社概要・ビジネスモデル

業績

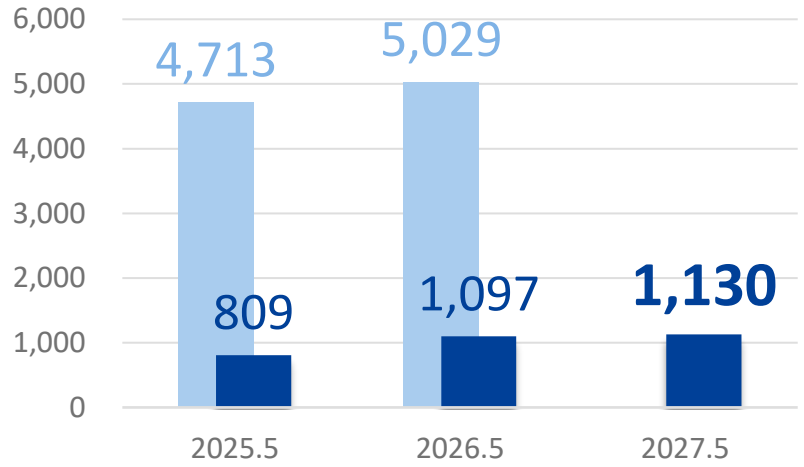
市場環境

当社の優位性と成長戦略

トピックス

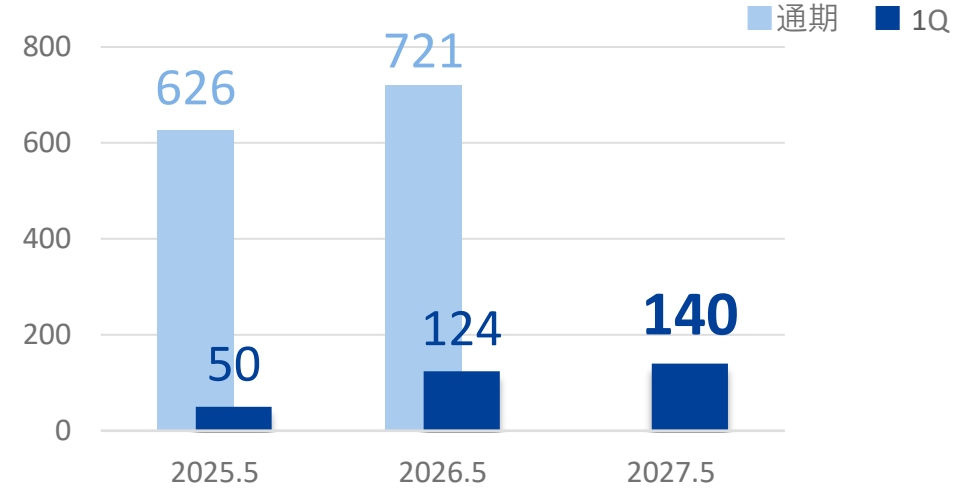
業績推移

売上高

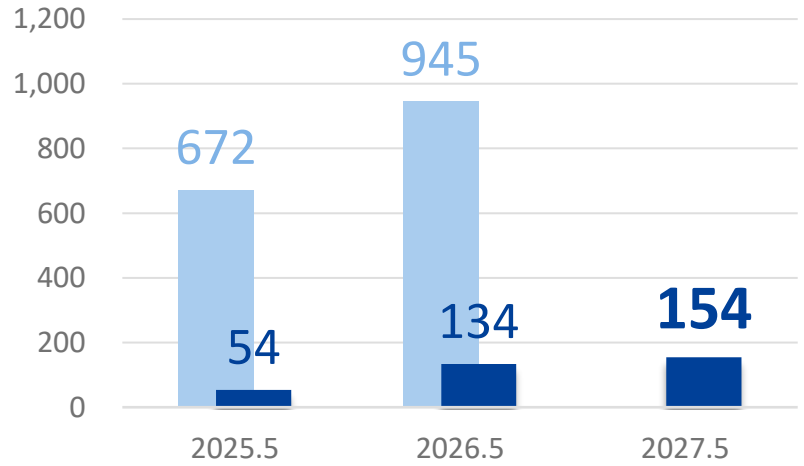


営業利益

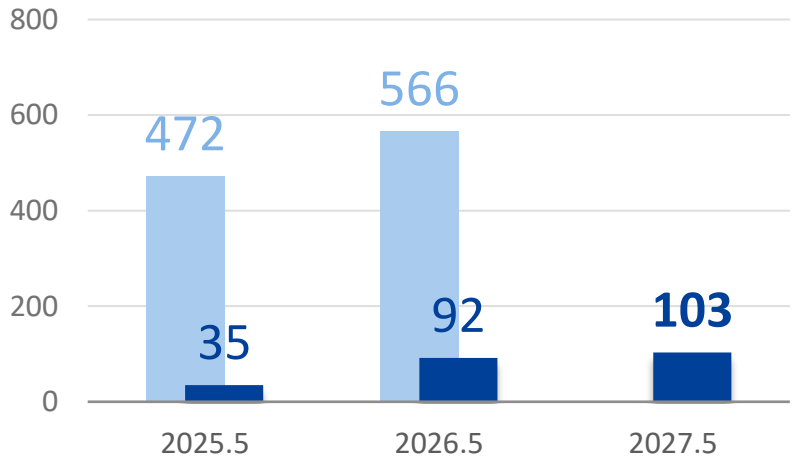
（単位：百万円）



経常利益



当期純利益



2027年５月期の業績予想につきましては、現時点では中東情勢等の影響を受け業績に影響を与える未確定な要素が多く合理的な算定が困難な状況であるため未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点において速やかにお知らせいたします。

貸借対照表の概要

（単位：百万円）

		2026年5月期	2027年5月期 1Q	増減	
資産	流動資産	3,651	**3,369**	**△282**	現金及び預金 △324 受取手形、完成工事未収入金及び契約資産 △109 未成工事支出金 +77、他
	固定資産	1,461	**1,465**	**4**	投資不動産 +31、他
	合計	5,112	**4,834**	**△278**	―
負債	流動負債	1,214	**937**	**△277**	工事未払金 △265 未払法人税等 △158 未成工事受入金 +199、他
	固定負債	17	**17**	**―**	―
	合計	1,231	**954**	**△277**	―
純資産合計		3,881	**3,880**	**△1**	その他有価証券評価差額 △0.6、他
負債純資産合計		5,112	**4,834**	**△278**	―

目次

会社概要・ビジネスモデル

業績

市場環境

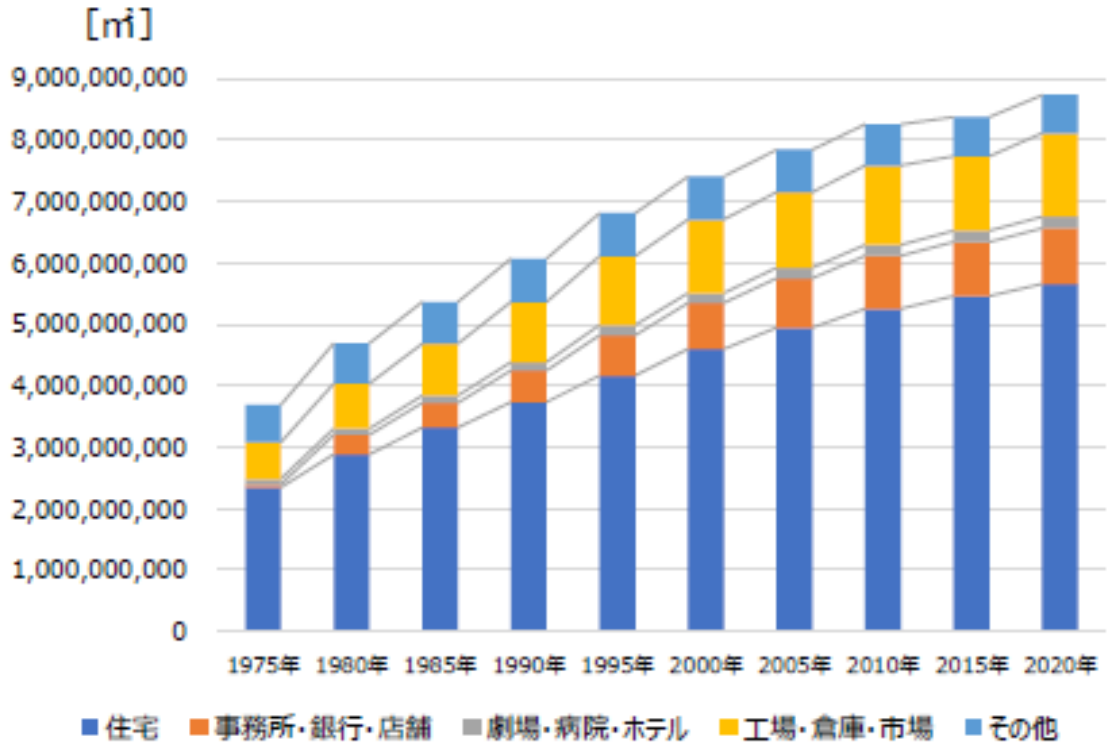
当社の優位性と成長戦略

トピックス

建築ストック老朽化の現状

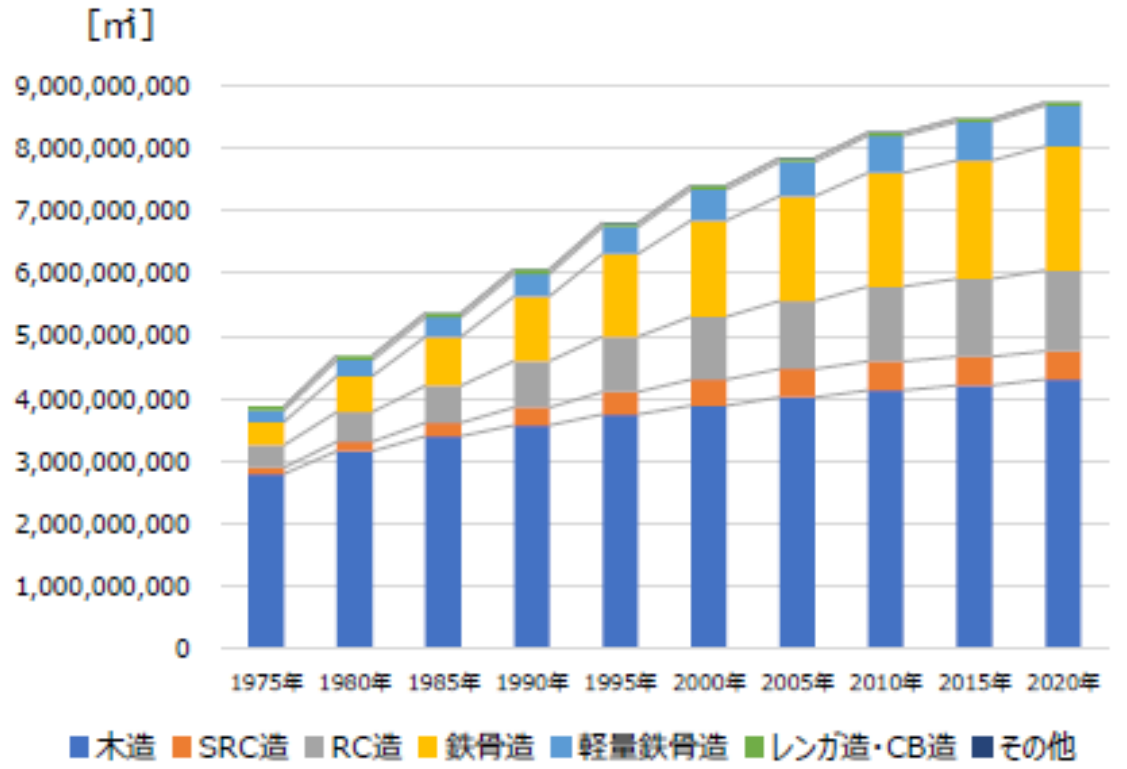
高度経済成長期に建設された建築物インフラの老朽化が進行
今後も底堅いリフォーム需要が継続的に発生することが確実視

用途別



建築ストックの床面積は増加の一途

構造別



構造別にみると、非木造建築物（鉄骨造）が大きく増加

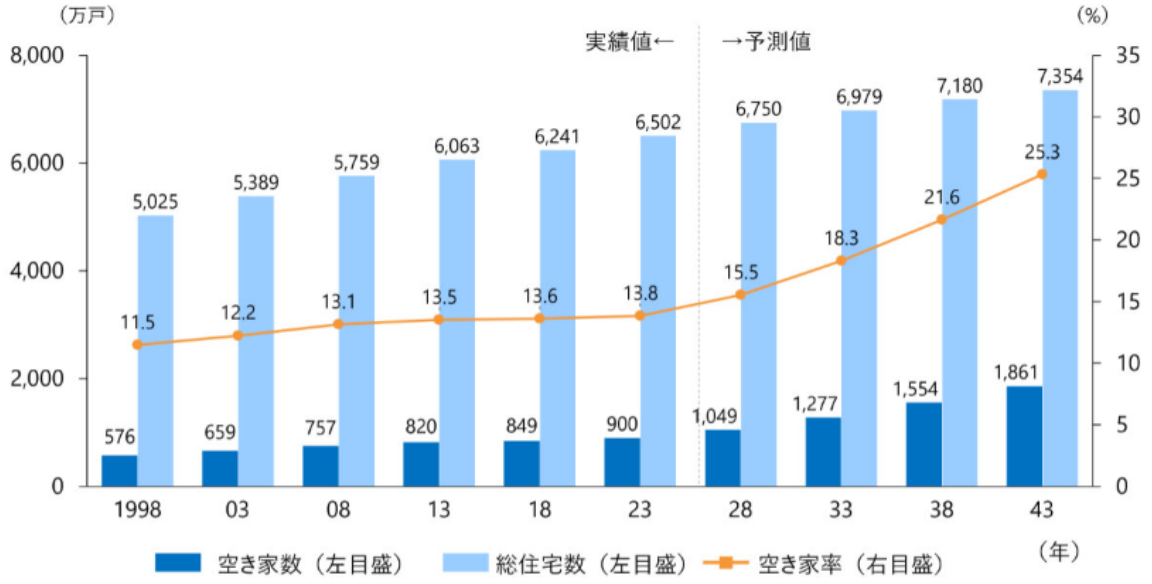
出所）国土交通省「既存建築ストックの動向について」より

空き家数と空き家率

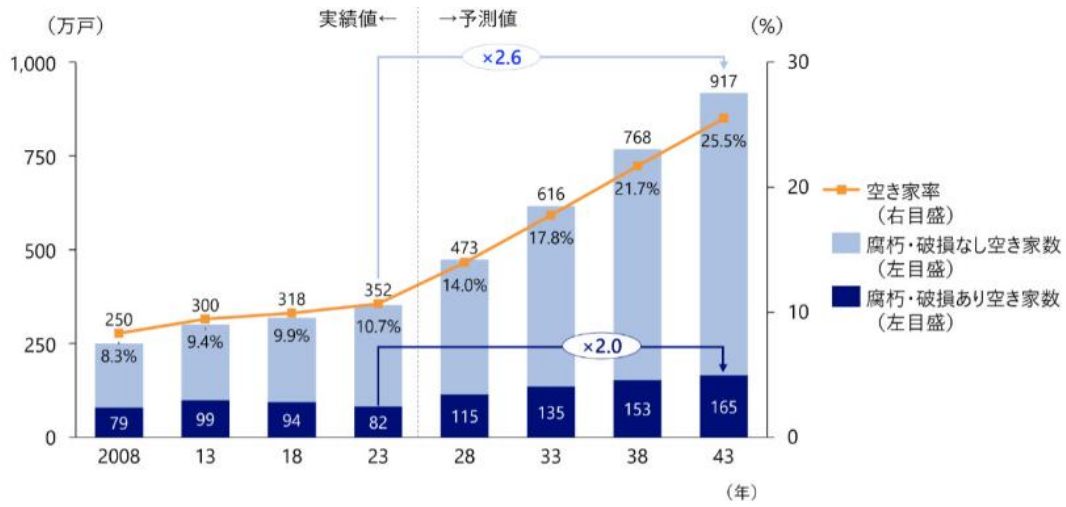
2043年には 空き家率が約25％に上昇する見込み

・一戸建ては今後空き家率が急上昇し、それに伴い腐食･破損ありの危険な空き家も急増が見込まれる
・空き家は街の景観や安全の観点からも問題視されており、国や地方自治体において再利用促進策の実施･地域振興策との連携･データ管理と分析･課税や罰則の導入･地域住民との協働や法整備の見直しなど対策が取られている
・「まだ利活用できる空き家を中古住宅と流通させる」、「利活用が難しい危険な空き家の急増をどう防ぐか」という方向について社会全体で制度改革に取り組む必要がある

総住宅数・空き家数・空き家率の実績と予測



一戸建の空き家数・空き家率の予測



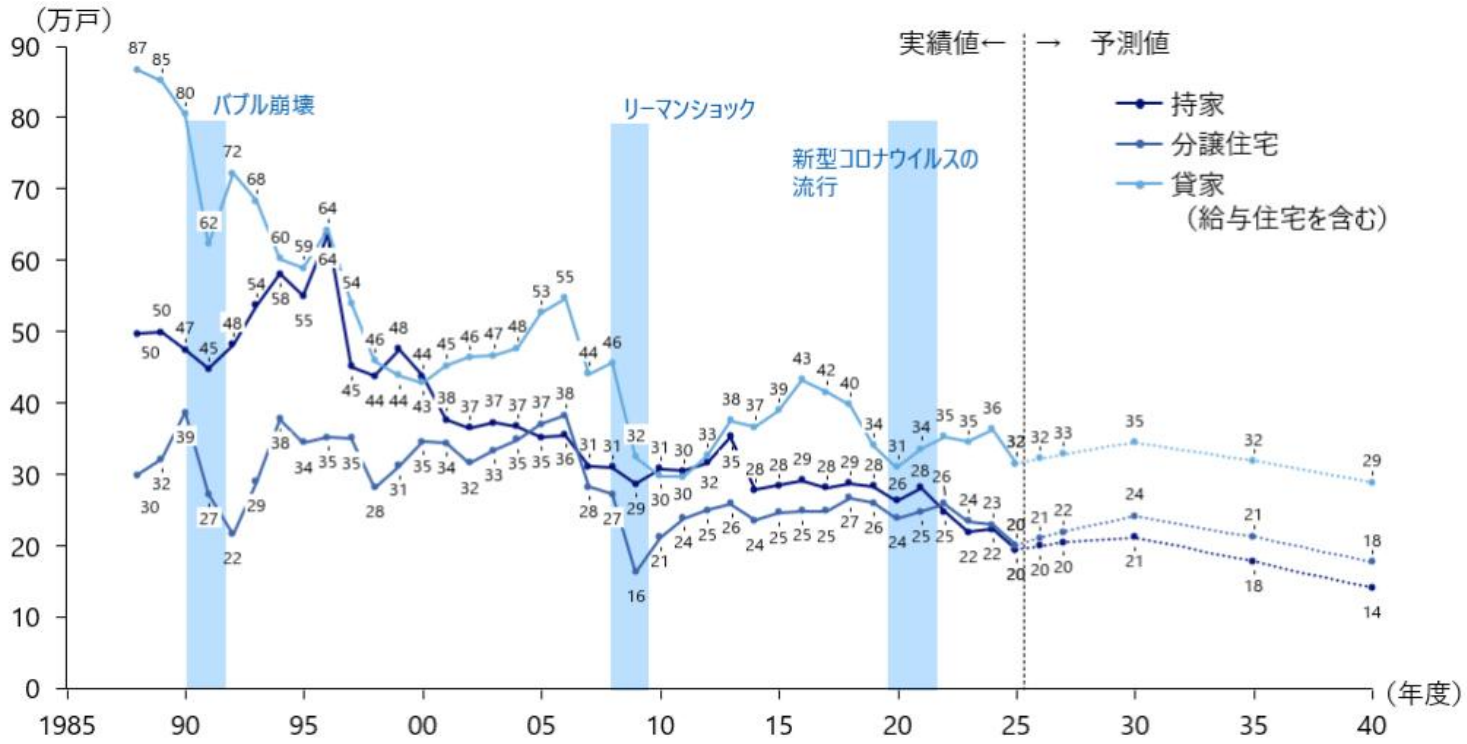
出所）㈱野村総合研究所「空き家数と空き家率（2028～2043年の予測）」より

リフォーム・リノベーションし、新たに利活用していく時代・街づくりへ

新設住宅市場の動向

新設住宅着工数は漸減する見込み

新設住宅着工戸数の実績と予測（利用関係別）



出所）㈱野村総合研究所「新設住宅着工数（2026～2040年度の予測）」より

背景

- 住宅価格高騰や金利上昇に所得の伸びが追い付かないことにより実需が縮小
- 人口減少や世帯数減少といった構造的要因
- 住宅ストックの平均築年数の延び
- 若年層の持ち家所有意欲の低下
- 少子高齢化が進むことで住宅新設減

リフォーム市場への影響

- 家を長持ちさせるためのリフォームや外壁塗装の需要増
- 新築住宅購入から中古住宅購入へシフトリフォームやリノベーション増へ
- 今後は国の空き家対策による中古住宅活性化の可能性もあり、リフォーム増の見込み

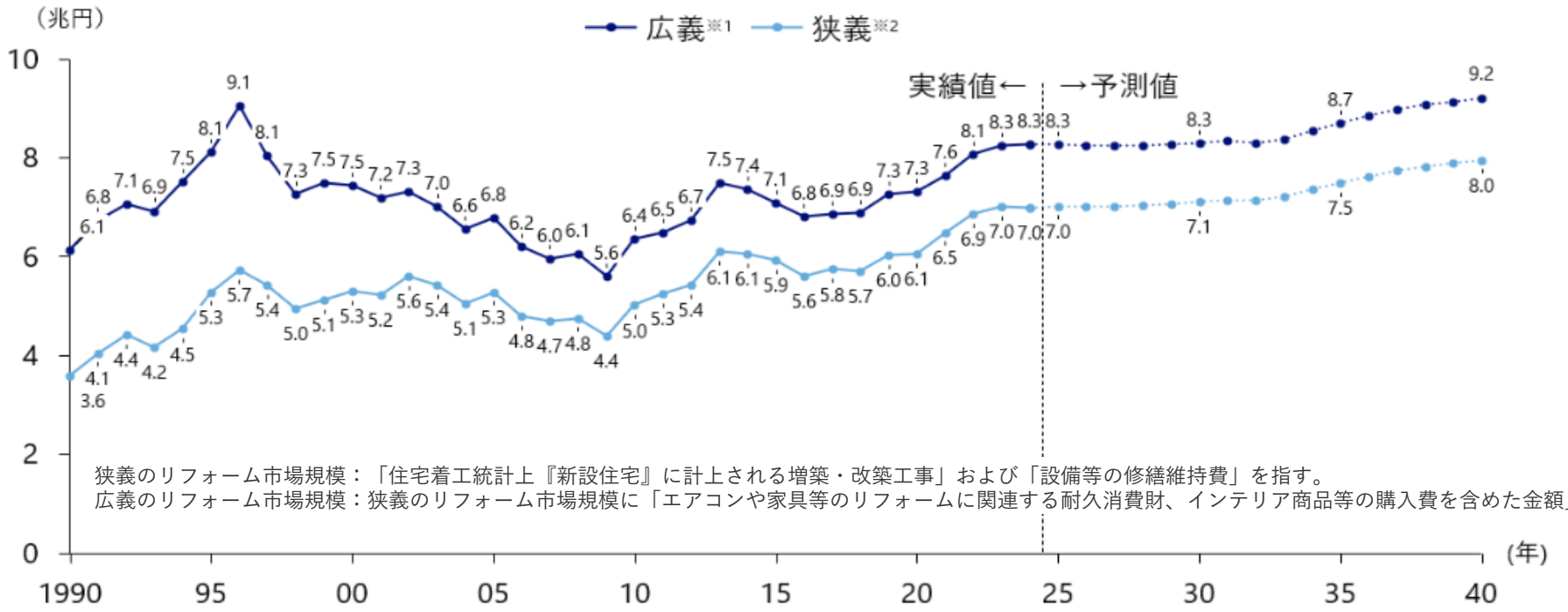
住宅リフォーム市場規模

リフォーム市場は、成長を続け8.0兆円規模の安定した市場

経年劣化に伴う修繕需要や住生活空間の充実を図るようなリフォーム需要が長期的にも底堅く推移することが見込まれる。さらに、リフォーム工事原価の上昇や高付加価値リフォームの増加により、リフォーム工事単価は上昇傾向が続くとみられ、今後の住宅リフォーム市場は堅調に推移する見通し。

また、前年度の予測は2040年7.9兆円規模であったため、リフォーム市場規模は年々増加していることがうかがえる。

リフォーム市場の実績と予測



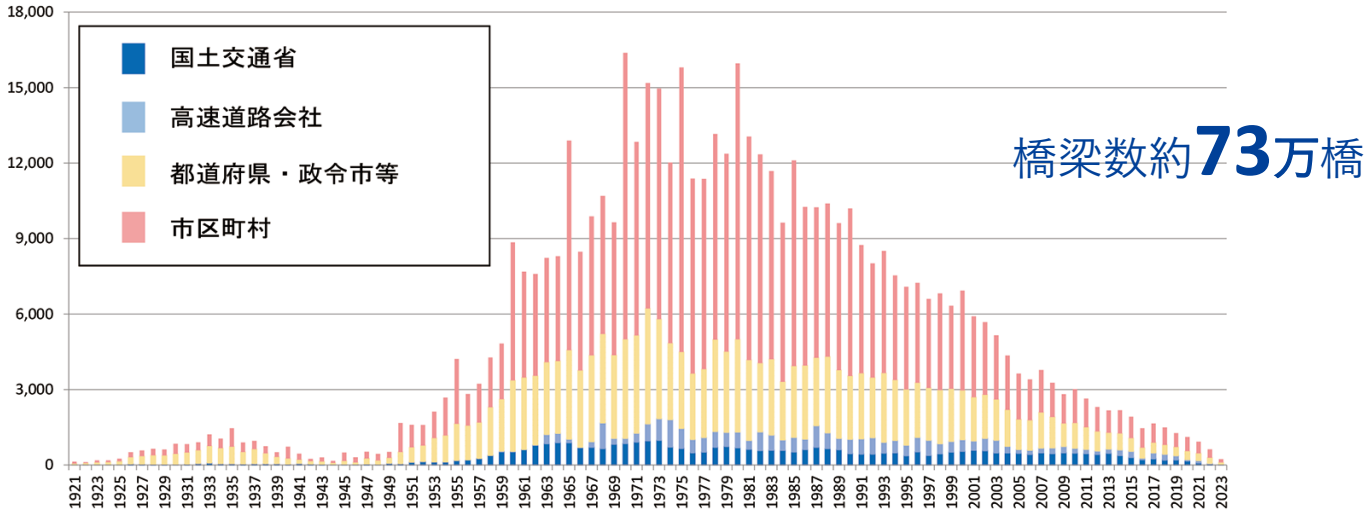
狭義のリフォーム市場規模：「住宅着工統計上『新設住宅』に計上される増築・改築工事」および「設備等の修繕維持費」を指す。
広義のリフォーム市場規模：狭義のリフォーム市場規模に「エアコンや家具等のリフォームに関連する耐久消費財、インテリア商品等の購入費を含めた金額」を加えたもの。

出所）㈱野村総合研究所「リフォーム市場規模（2026～2040年の推計・予測）」より

インフラストック老朽化の現状

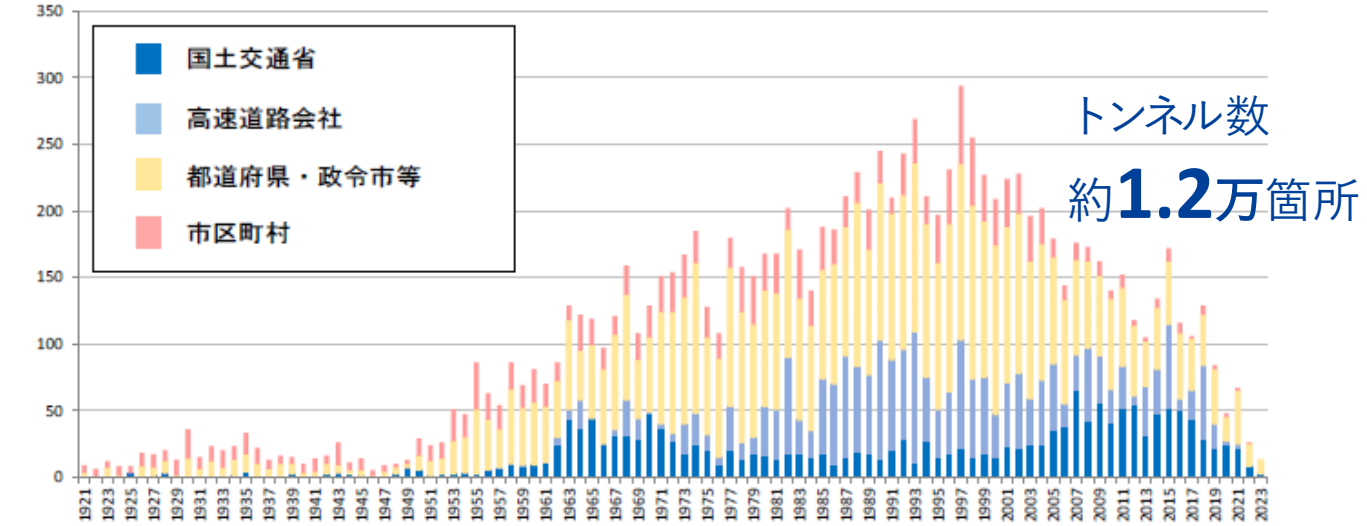
高度経済成長期に建設された社会インフラの老朽化が進行

○ 建設年度別橋梁数



橋梁数約**73**万橋

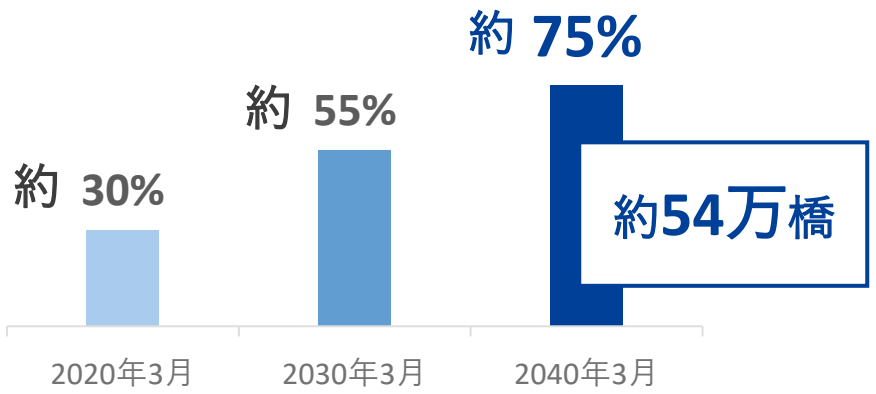
○ 建設年度別トンネル数



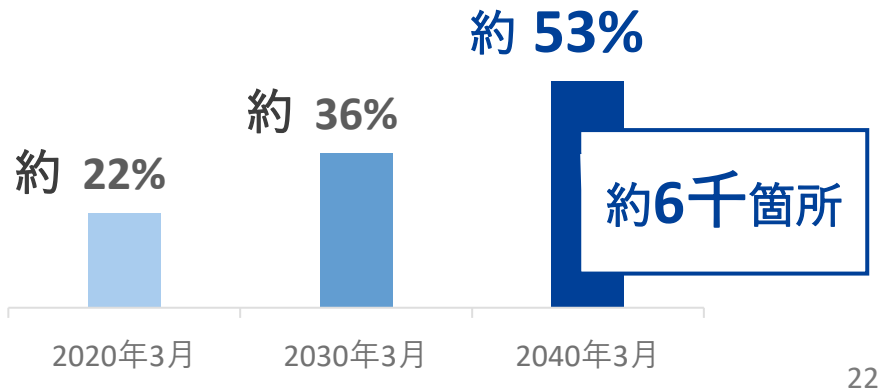
トンネル数
約**1.2**万箇所

出所）国土交通省道路局「2025年8月道路メンテナンス年報」より（データは全て2025.3末時点のもの）

建設後50年を経過した橋梁の割合

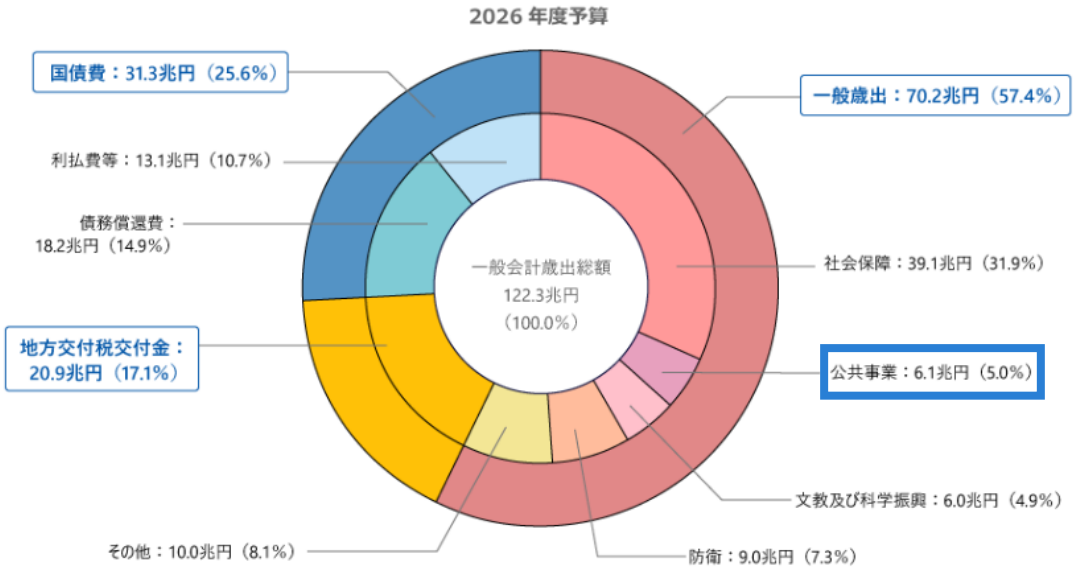


建設後50年を経過したトンネル橋梁の割合

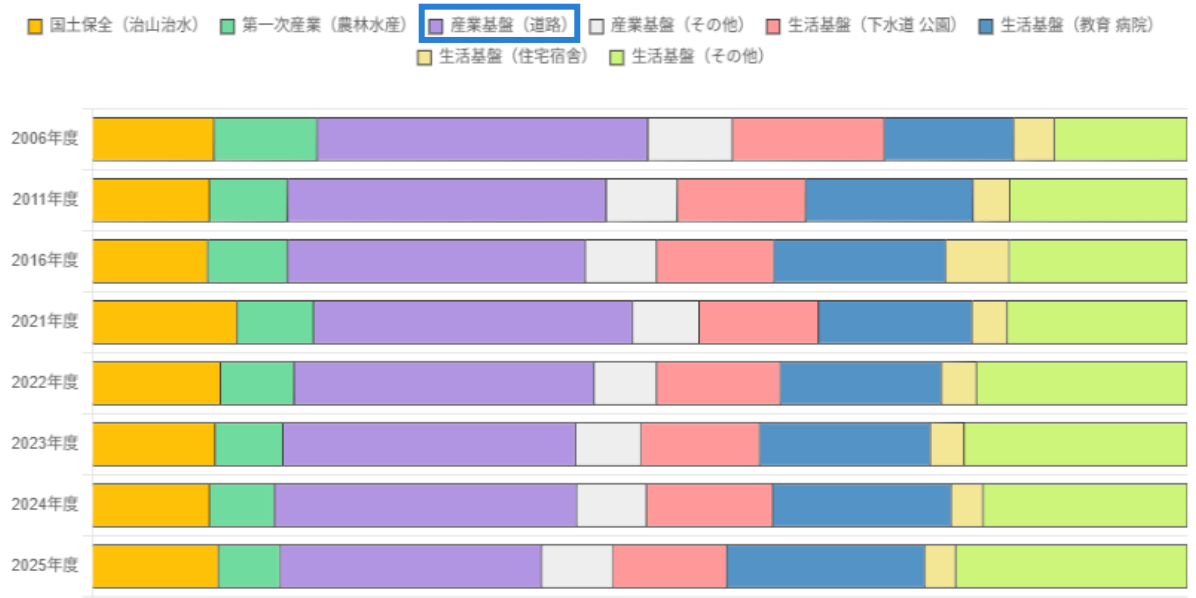


公共事業予算および産業基盤割合

公共事業は6.1兆円（5.0%）の内、産業基盤（道路）が約30%を占めている



資料出所：財務省「令和8年度予算書　予定経費要求書 主要経費別表」
令和8年度予算：財務省（mof.go.jp）
一般会計予算（mof.go.jp）
令和8年度予算のポイント（mof.go.jp）



（注）「産業基盤・その他」：港湾空港、鉄道軌道等　　生活基盤・その他」：土地造成、上・工業用水道、庁舎、災害廃棄物処理等

資料出所：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」

需要の安定性と事業拡大の機会を長期的に享受できる強力な追風となる

国土強靭化の継続的な推進

国土強靭化は「５か年加速化対策」から新たな５か年計画へ

2021～2025年度「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」

↓

2026～2030年度「第１次国土強靭化実施中期計画」 ５年間で20兆円程の事業規模を見込む

防災インフラの整備・管理 5.8兆円	**ライフラインの強靭化 10.6兆円**	デジタル等新技術の活用 0.3兆円	官民連携強化 1.8兆円	地域防災力の強化 1.8兆円

「老朽化対策」から「予防保全型メンテナンス」へ

新たな国土強靭化実施中期計画では、インフラについて

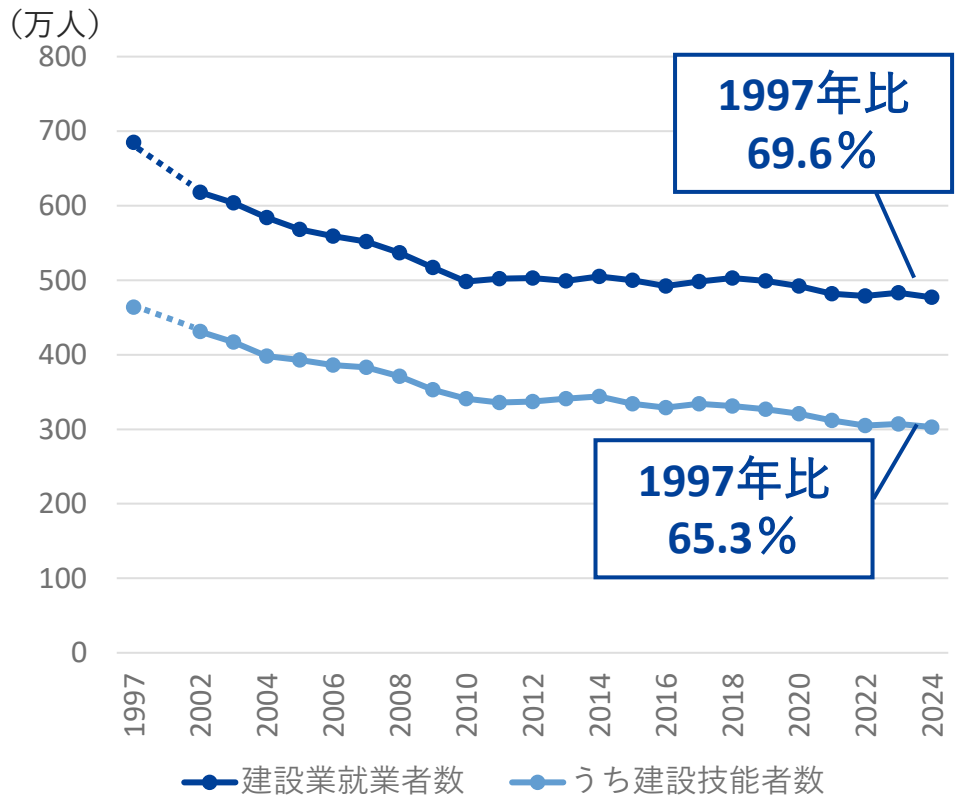
確実な点検・診断、致命的な損傷の早期解消、予防保全型メンテナンスへの早期転換が明確に掲げられている

点検・診断 → 早期補修 → 予防保全 → 長寿命化

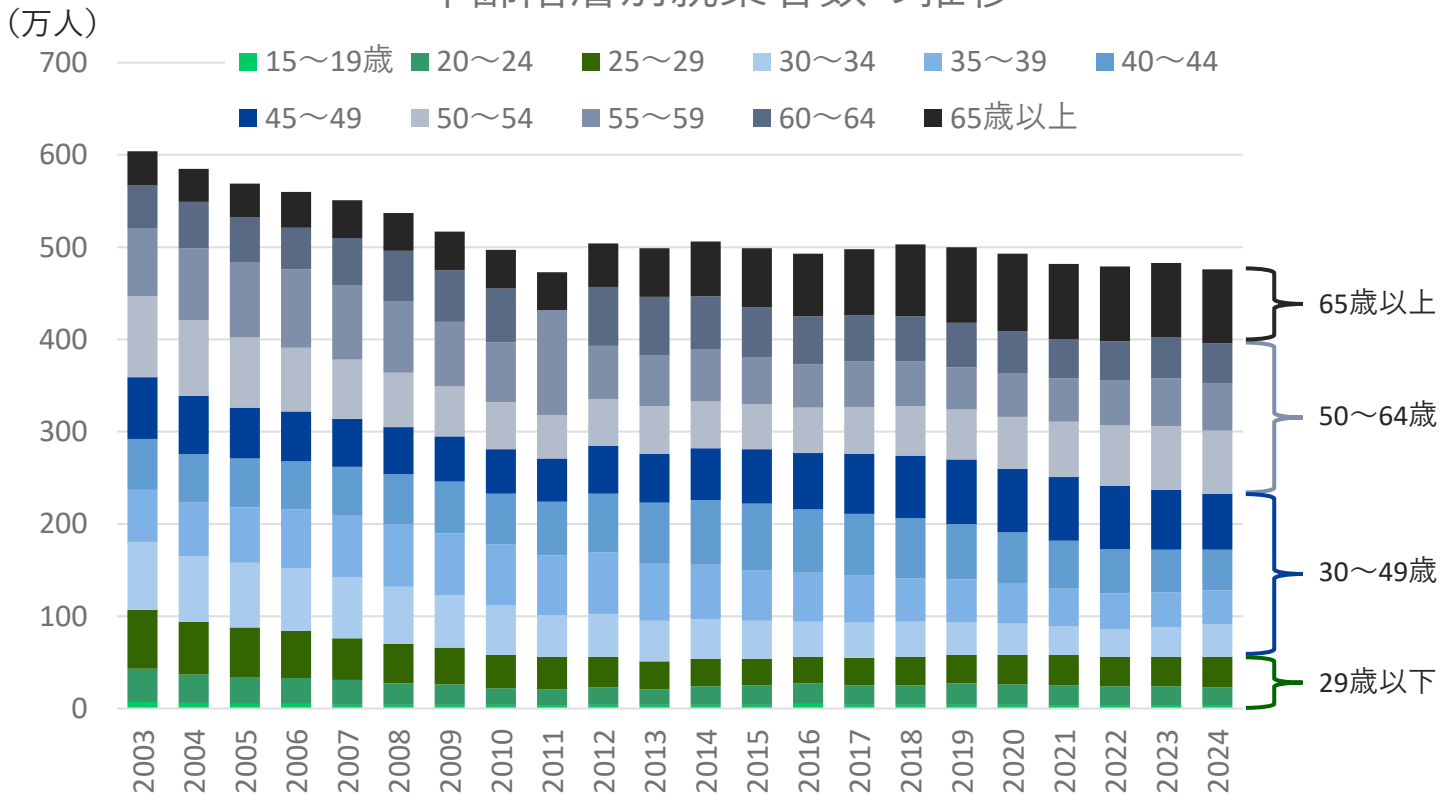
当社と親和性の高い市場環境

建設業の深刻な人手不足と職人の高齢化

建設就業者数の推移



年齢階層別就業者数の推移



建設業就業者数は、1997年（685万人）をピークとして減少が続いており、
2024年はピーク時比69.6％の477万人。
そのうち、建設技能者はピーク時（1997年464万人）比65.3％の303万人である。

就業者数の推移を年齢階層でみると、過去20年で29歳以下の若年層が約88万人から約56万人に減少しているのに対して、
65歳以上は37万人台から80万人台へと大きく増加している。
また、中核となる30歳～49歳の層では約238万人から約177万人へと大きく減少している。

出所）日本建設業連合会より（データは全て2025.5月時点のもの）

建設業の構造的課題



課題 ①

深刻な人手不足・採用難

現場作業員・点検担当者の採用が年々困難。
限られた人員で現場を管理せざるを得ない。



課題 ②

点検・巡回業務の非効率

現地往来による移動時間・交通費・人件費の負担。
紙・口頭伝達で情報の遅延・欠落が発生。



課題 ③

危険箇所への立入りリスク

高所・法面・崩落危険区域等での点検は労働災害
リスクを常に内包。頻度・精度の低下も課題。



課題 ④

進捗把握・情報共有の属人化

進捗の把握・報告が担当者の経験に依存。担当者
交代で情報の継続性が損なわれるリスク。

目次

会社概要・ビジネスモデル

業績

市場環境

当社の優位性と成長戦略

トピックス

市場の機会と課題に対する当社の優位性

市場環境 （課題および機会）	**当社の解決策** （優位性）	該当する技術・施策
建築・インフラストック老朽化 リフォーム需要増 （市場需要の拡大）	**独自技術×全国施工ネットワーク** ➡ 戸建て住宅から社会インフラまで 全国網でカバー	・ホームメイキャップ ・スケルトン防災コーティング ・全国施工ネットワーク
公共事業予算・国土強靭化の推進 （国策による強力な追い風）	**国の施策に合致した予防保全技術** ➡ 国土強靭化に有効と思われる新技術として内閣府から認められた特許技術 ➡ NETIS登録技術	・スケルトン防災コーティング ・全国施工ネットワーク
深刻な人手不足・職人の高齢化 構造的課題 （業界全体の最大の課題）	**ヒューマノイドおよびセンシング技術の領域展開** ➡ 少人化・危険作業の代替を実現	・ヒューマノイド ・センシング

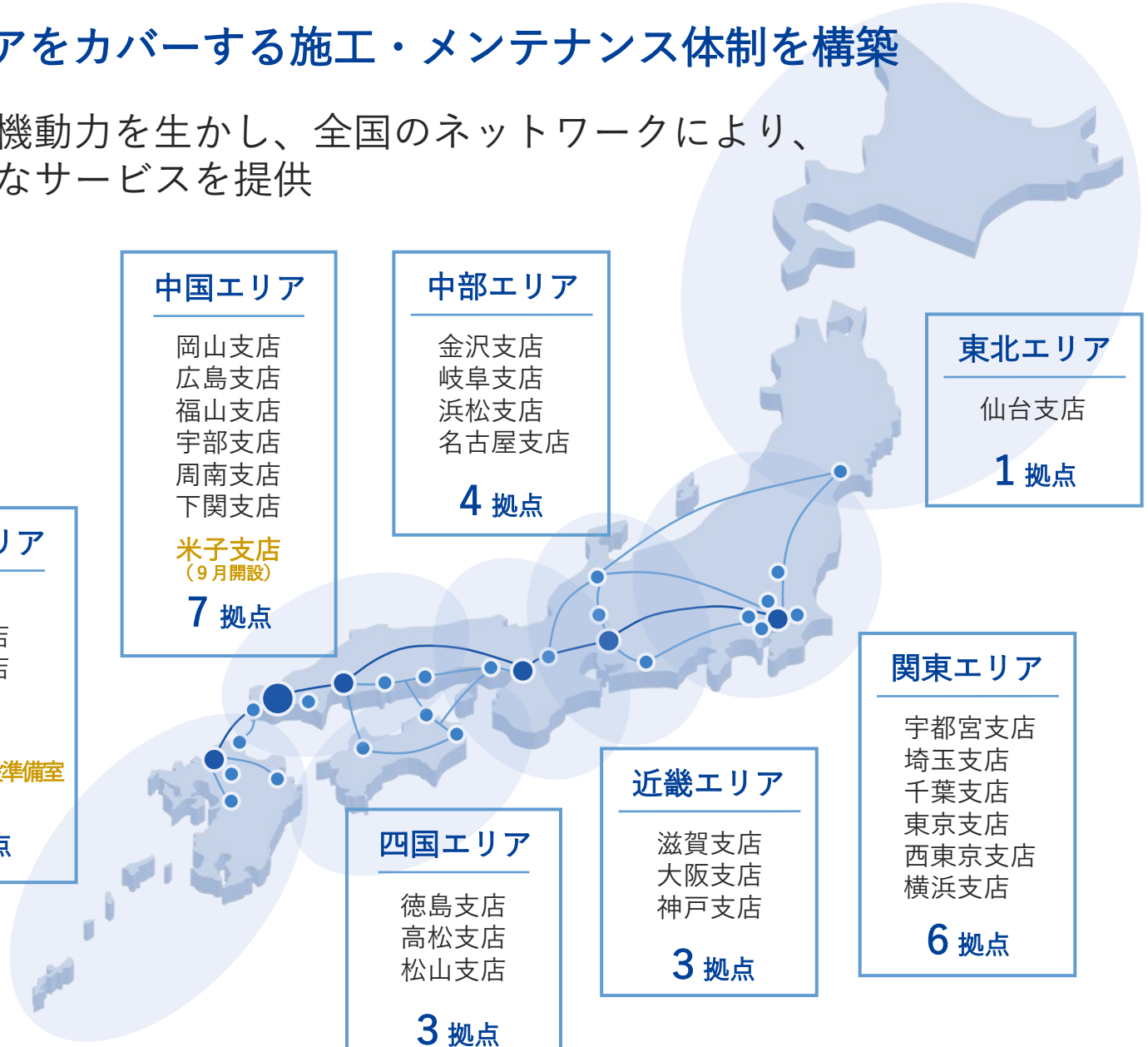
当社は『機会』を確実に捉え、同時に『課題』も自社の技術やこれから展開する革新技術でアプローチ

全国施工ネットワーク　－列島リフォーム－

全国主要エリアをカバーする施工・メンテナンス体制を構築

当社の技術力と機動力を生かし、全国のネットワークにより、
迅速かつ高品質なサービスを提供

2026年9月時点
30拠点



中国エリア
岡山支店
広島支店
福山支店
宇部支店
周南支店
下関支店
米子支店（9月開設）
7 拠点

中部エリア
金沢支店
岐阜支店
浜松支店
名古屋支店
4 拠点

東北エリア
仙台支店
1 拠点

九州エリア
福岡支店
北九州支店
久留米支店
熊本支店
大分支店
沖縄支店開設準備室（8月設置）
6 拠点

四国エリア
徳島支店
高松支店
松山支店
3 拠点

近畿エリア
滋賀支店
大阪支店
神戸支店
3 拠点

関東エリア
宇都宮支店
埼玉支店
千葉支店
東京支店
西東京支店
横浜支店
6 拠点

拠点数の推移



独自技術による建築ストック長寿命化事業

建物価値維持

建物の価値を維持する独自コーティング技術

カラー
コーティング

美観蘇生
コーティング

クリア
コーティング

無色透明
コーティング

応用特殊
施工

クリア・カラー
コーティング施工
の技術を
応用した工法





社会インフラ保全

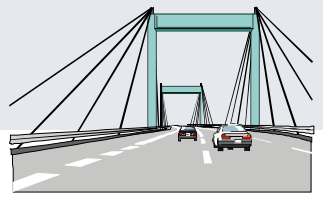
防災・減災に貢献する次世代コーティング技術

スケルトン防災コーティング

特許技術

施工後もコンクリート表面が透けて見える
革新的な剥落対策・表面保護工法

特許第5727708号（西日本高速道路㈱共同）
特許第6499891号
特許第6808354号



クリアコーティング施工例

活かす **+ 補強**　**意匠性・デザイン性の維持、素材感を残した保護・延命**



国登録有形文化財

建物の古びた状況を保存する為の改修工事を実施。クリアコーティングは、無色透明であり、防水補強・はく落防災機能を有するため、意匠性を保持でき歴史的建造物にも最適な弊社独自の工法です。
現在はオフィスビルへコンバージョンされています。（空き家利活用）







外壁防水コーティング（応用特殊）



タイルはく落防止（応用特殊）





石積欠損防止（応用特殊）

カラーコーティング施工例

再生 **＋補強**　外壁の美観回復、新築時の印象再現、景観維持、資産価値維持

外壁補強コーティング

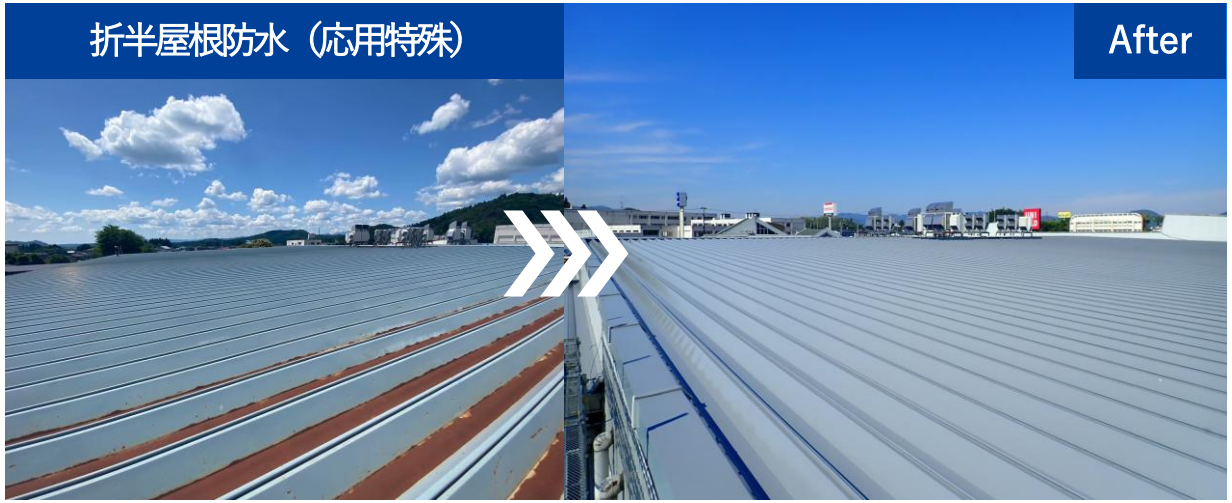


- 外壁リフォームの主流である再塗装に対応した塗装
- 亀裂や爆裂の補修など損傷部位の補修にも対応
- 紫外線や酸性雨からの保護
- あらゆる建築物、施工箇所に対応

基礎補強（応用特殊）



折半屋根防水（応用特殊）



応用特殊施工　－新工法への積極的な取り組み－

ホームメイキャップは塗装を進化させ、より良いサービスを提供いたします
あらゆるニーズにお応えするべく、研究･開発を続けています

ハイパーメット

強固な下地で折半･スレート屋根の
漏水を防ぐ防水工法



ウルトラジャケット

柔軟性･強靭性を併せ持つ
大壁工法



キングブーツ

基礎巾木部
クラック防止工法



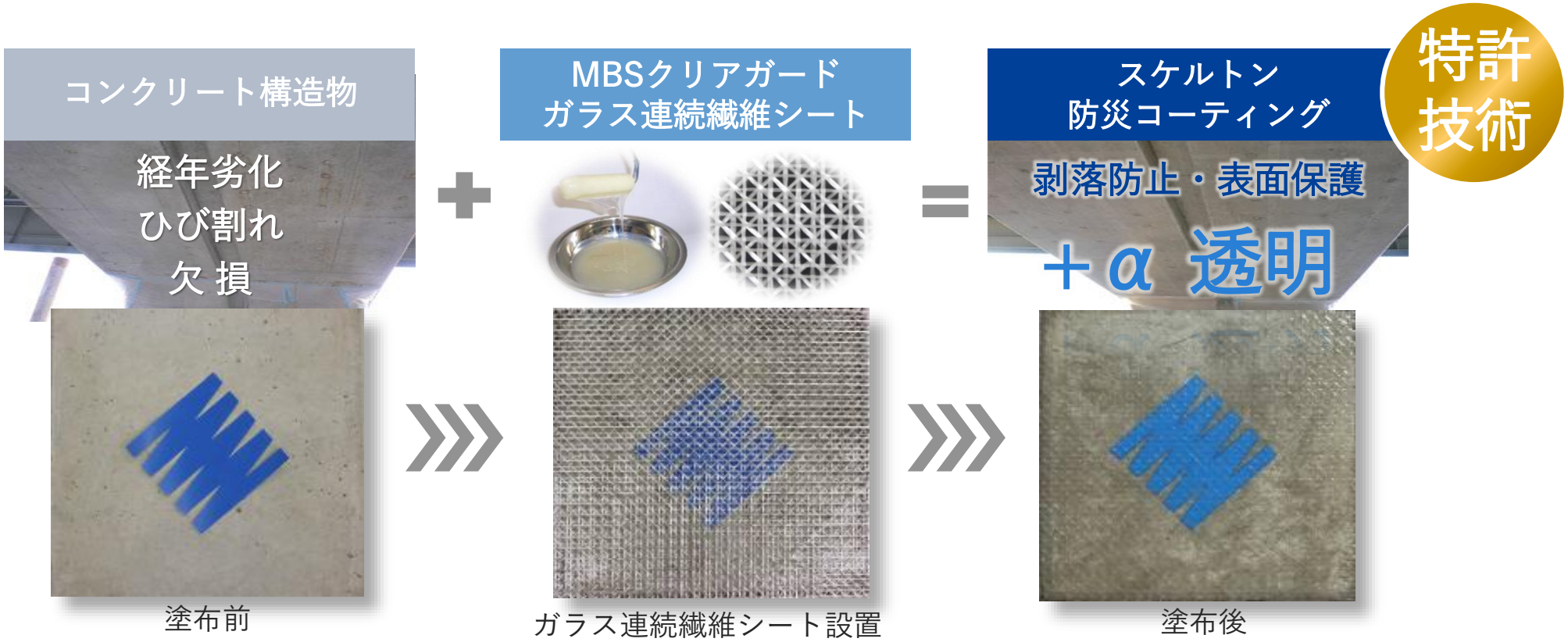
マクハリニュートン

強固な透明塗膜による
タイルはく落防止システム



スケルトン防災コーティング　— 防災・減災に貢献する次世代コーティング技術 —

守る ×延ばす　剥落防止、劣化抑制、防災、安全性向上、長寿命化



特許第5727708号	コンクリート構造物表面の強化コーティング方法及びコンクリート構造物の強化コーティング構造並びに強化コンクリート構造物（西日本高速道路㈱共同特許）
特許第6499891号	コンクリートのコーティング構造および、コンクリート表面のコーティング方法
特許第6808354号	コンクリート構造物、コンクリート構造物の製造方法、およびコンクリート構造物の劣化診断方法

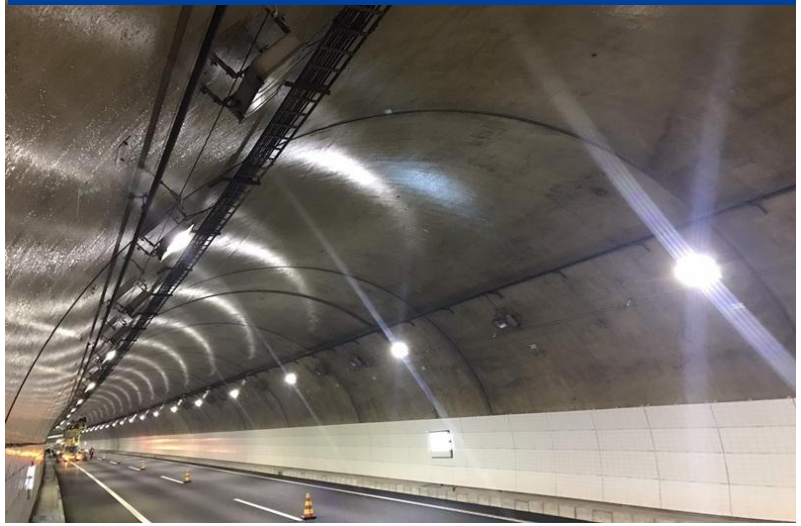
スケルトン防災コーティング施工例

超薄膜スケルトンはく落防災コーティング





スケルトンクリアーコーティング（鋼繊維仕様）





T-oneクリアカラー工法（半透明仕上げ）





スケルトン防災コーティングの強み

スケルトン防災コーティングは、平成30年11月1日開催 内閣府の総合科学技術イノベーション会議
有識者議員会合において、**【国土強靭化に有効と思われる新技術例】**として紹介された技術です

（参考３-２）

【国土強靭化に有効と思われる新技術例】

■1．地盤の液状化対策『D-Box』〔メトリー技術研究所，ソイルバッグ研究会〕

（NETIS：KT-100098-A）

★ 宅地・工業用地の液状化対策　★ 地盤の振動対策
☆ 参考 URL ： http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=vbDRtg5JWIQ 【技術紹介ビデオ】
☆ 参考 URL ： http://www.soilbag.com/ 【技術紹介，ビデオ】

■2．超高強度繊維補強コンクリート『サクセム』〔鹿島建設，三井住友建設，サクセム研究会〕

★ 高強度（⇒部材の肉薄化）　★ 高靭性（⇒耐震性の向上）　★ 配置鉄筋の縮減　★ 高ひび割れ抵抗性（⇒高耐久性）
☆ 参考 URL ： http://www.suqcem.com/index.html 【PDF】

■3．コンクリート表面保護・はく落防止工の透明化『スケルトン工法』〔エムビーエス，NEXCO 西日本〕

（NETIS：CG-120025-A）

★ コンクリート構造物の長寿命化　★ コンクリートはく落による第三者被害の予防　★ 目視点検の確実化
☆ 参考 URL ： http://skeleton.jpn.com/ 【技術紹介，ビデオ】

■4．トンネル等の走行型計測『MIMM（ミーム）』〔計測検査，三菱電機〕

★ 高速走行しながらデータ取得（点検の時間短縮＋コスト縮減）　★ 点検精度の向上（3D 点群データ（形状）＋光学画像データ）
☆ 参考 URL ： http://www.keisokukensa.co.jp/ 【技術紹介，ビデオ】
☆ 参考 URL ： http://www.keisokukensa.co.jp/MIMM.pdf 【技術紹介，PDF】

■5．光ファイバーを用いたモニタリングシステム『OSMOS（オスモス）』〔日揮，OSMOS 技術協会〕

（NETIS：KT-000059-A）

★ 構造物や地盤の常時モニタリング　★ 災害，事故発生時の変状把握　★ 不具合構造物の経過観察
☆ 参考 URL ： http://www.osmos.jp/technology/summary/index.html 【技術紹介，ビデオ】
☆ 参考 URL ： http://www.osmos.jp/?newscat=news-jp 【適用事例，PDF】

■6．FRP の土木構造物への適用性拡大〔AGC マテックス，日本 FRP，他〕

（NETIS：CB-120033-A，KK-100112-A，CB-050025-V，他）

★ メンテナンスフリー（⇒ランニングコストの縮減）　★ 軽量化
☆ 参考 URL ： http://www.agm.co.jp/product/engineering.html 【土木用製品，html】
☆ 参考 URL ： http://www.nihonfrp.co.jp/annai/eva_gate/eg.html 【水門，html】

【国土強靭化マトリックス】（新技術例の位置付け）

【材料】	鋼	コンクリート	新素材	－	－
	OSMOS 〔BHS，アルミ合金〕	サクセム スケルトン工法 MIMM	FRP	－	－
【目的】	点検	補修・補強	予防	モニタリング	改築
	スケルトン工法 MIMM	D-Box サクセム	D-Box サクセム スケルトン工法 FRP（耐久性）	OSMOS	D-Box サクセム
【構造】	橋	トンネル	地盤	河川・ダム	港湾・海岸
	サクセム スケルトン工法 OSMOS FRP（歩道橋，付属物）	サクセム スケルトン工法 MIMM OSMOS	D-Box OSMOS	OSMOS	D-Box サクセム OSMOS FRP（水門・陸閘）
【分野】	道路	鉄道	河川・ダム・砂防	港湾	宅地・工業用地
	サクセム スケルトン工法 MIMM OSMOS FRP（歩道橋，付属物）	サクセム スケルトン工法 MIMM OSMOS FRP（歩道橋，付属物）	OSMOS	サクセム OSMOS FRP（水門・陸閘）	D-Box
【要因】	津波・高潮	地震動	液状化	台風・豪雨	経年劣化
	FRP（水門・陸閘）	OSMOS	D-Box	OSMOS	サクセム FRP

スケルトン防災コーティングは新技術として信頼と実績を得た当社の特許技術です

競争優位性まとめ

TECH
技術力

独自技術による
高付加価値ソリューション

独自工法・特許技術を核に単なる塗装・補修にとどまらず、建物・社会インフラの長寿命化、防災、維持管理まで提供

NETWORK
展開力

全国施工・施工力

全国の拠点網と豊富な施工実績を背景に、多様な建物・社会インフラに対応できる施工体制を構築

INNOVATION
革新力

社会課題を成長機会に変える
事業基盤

社会課題を捉えた特許技術、ヒューマノイド、センシング技術により成長市場を取り込む

高付加価値ソリューションを提供

持続的な成長・事業領域の拡大

建設のディープテック企業へ

建設 × ヒューマノイド × センシング

現場の「人」に依存する建設業から、技術・データを活用する建設業へ

センシング技術　－事業化への展開－

スケルトン防災コーティング　×　㈱村田製作所ＲＦＩＤ

建物・社会インフラの状態を常時モニタリング

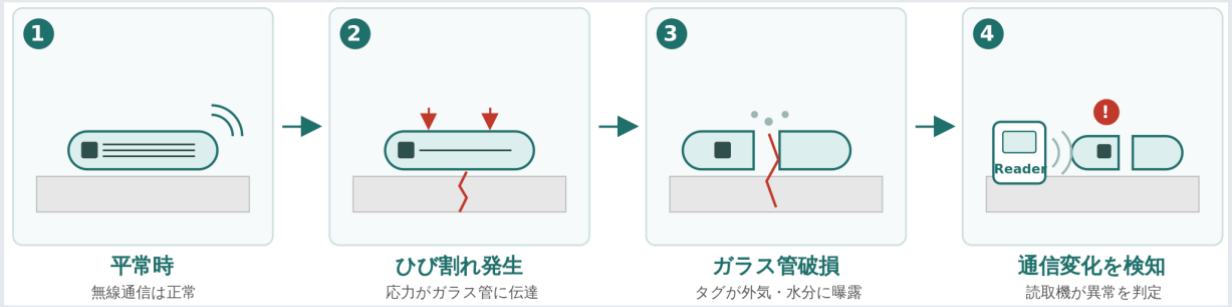
TECHNOLOGY
技術・仕組み

建物
橋梁
トンネル

＋

ＲＦＩＤデバイス
×
スケルトン防災コーティング

特許
出願中



5 FEATURES

1．電源･配線不要　　メンテナンスフリー
2．シンプル･低コスト　異常有無判定方式でシステム構造の簡素化
3．微細な異常を検知　１㎜未満のひび割れにも対応
4．早期異常検知へ　　異常兆候把握可能
5．位置情報の特定　　ＲＦＩＤタグ固有IDによる損傷位置の特定

BUSINESS ROADMAP
事業化への展開

- Phase 1　技術開発・特許出願
- Phase 2　実証実験　2027年5月期中
- Phase 3　商業化・サービス展開
- Phase 4　社会実装　インフラ維持、管理の高度化、社会インフラ長寿命化

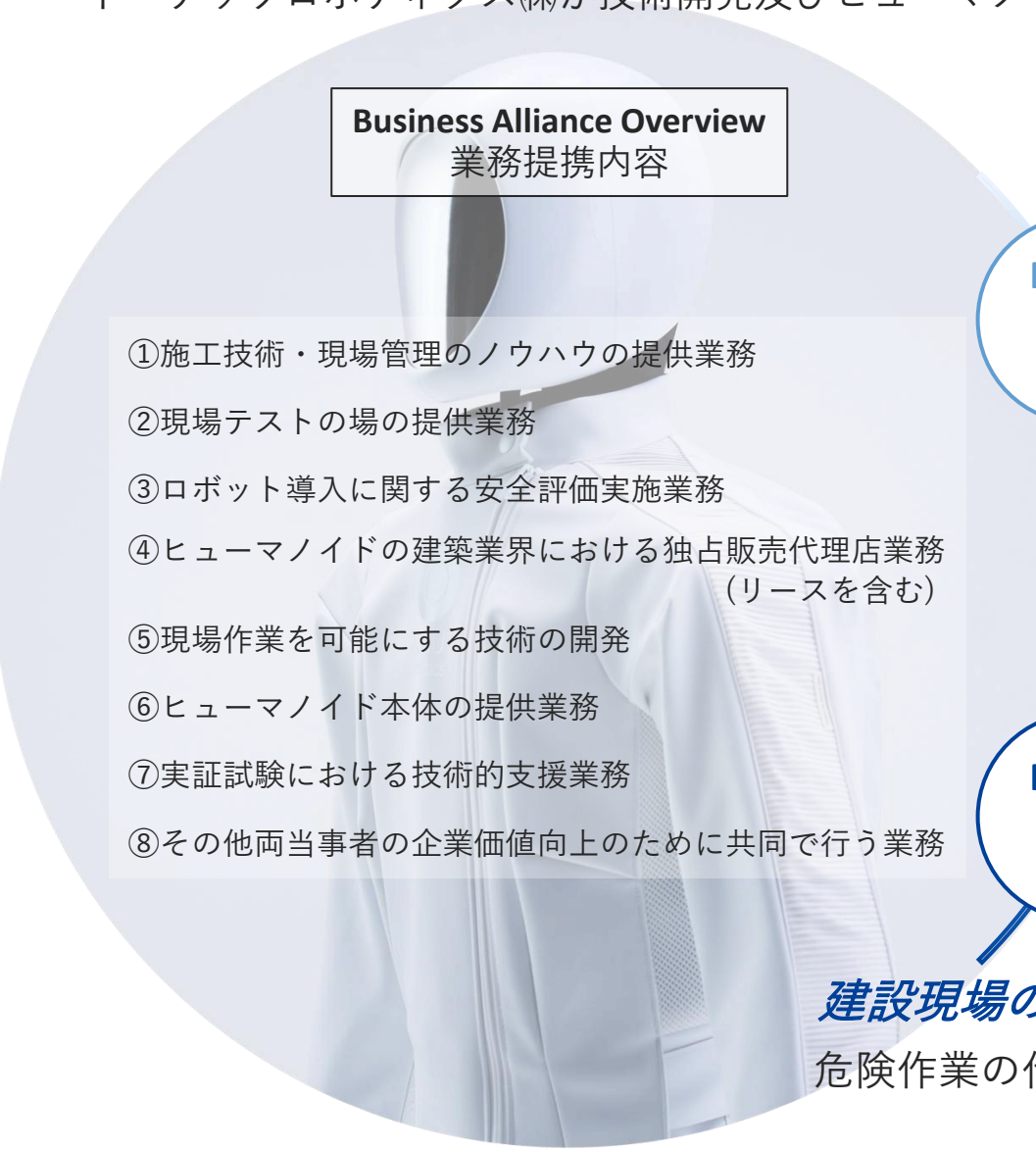
「守る技術」は「見守る技術」からはじまる

点検･修繕中心の維持管理 ⇒ センシングによる早期検知･予防保全

ヒューマノイド　－事業化への展開－

資本業務提携先ドーナッツロボティクス㈱との共同プロジェクト

ドーナッツロボティクス㈱が技術開発及びヒューマノイド本体を、当社が施工ノウハウ・現場テストの場を提供、安全性評価を担当



Business Alliance Overview
業務提携内容

①施工技術・現場管理のノウハウの提供業務

②現場テストの場の提供業務

③ロボット導入に関する安全評価実施業務

④ヒューマノイドの建築業界における独占販売代理店業務（リースを含む）

⑤現場作業を可能にする技術の開発

⑥ヒューマノイド本体の提供業務

⑦実証試験における技術的支援業務

⑧その他両当事者の企業価値向上のために共同で行う業務

BUSINESS ROADMAP
事業化への展開

Phase 1（～12ヶ月）
プロトタイプの開発および現地実験　2027年5月期中

Phase 2（12ヶ月～24ヶ月）
実用型モデルの開発、PoC開始

Phase 3（24ヶ月～）
商用サービス化、全国展開
※ヒューマノイドロボットの建設業界における独占販売代理店展開（リース販売を含む）

建設現場の少人化・自動化へ

危険作業の代替、人手不足への対応、作業データの蓄積、施工メンテナンスの効率化

ヒューマノイド基本スペックと搭載技術

資本業務提携先 ドーナッツロボティクス㈱の量産型二足歩行ヒューマノイド「cinnamon 2」に、建設現場専用ＡＩを搭載

身長 約170cm、体重 約70kg、二足歩行

既存環境への高い適応性を実現

人間と同じ動作域・作業環境を前提に設計されているため、既存の建設現場にある道具･足場･作業環境をそのまま利活用でき、大規模な現場改修を要することなく即時に展開可能

サイレントジェスチャーコントロール

特許申請中　世界初の技術

離れた場所から指などのサインでロボットを制御できる仕組み。騒音の激しい建設現場においても、音声に依存せず身振り手振りによる指示が可能。作業員はロボットに対して直感的かつ確実に意思を伝達できることが期待される



建設現場専用ＡＩシステム

VLA：Vision-Language-Action

視覚･言語･行動を統合したモデルにより、カメラ映像から現場状況を意味的に理解し、次の行動を自律的に決定･実行。担当の実運用データでファインチューニングし、当社固有の現場環境に最適化した専用モデルを構築

周辺システム

遠隔操作・データ管理

取得した映像･センサーデータをＡＩがリアルタイム解析し、異常検知･進捗判定･点検レポートの自動生成を実現。現場と事務所間の即時情報共有と意思決定支援環境を構築

※イメージ画像

想定する活用方法とヒューマノイドの優位性

想定する活用方法｜5つのユースケース

①定点点検の自動化

巡回ルートを自律歩行し自動収集

②危険エリアの無人点検

高所・崩落区域を遠隔で安全確認

③進捗の可視化・共有

取得データをリアルタイム共有

④現場調査・警備支援

現場調査や警備業務へ展開

⑤補助業務

資材搬送・反復作業を代替

なぜ「二足歩行ヒューマノイド」か？ドローン・四足・固定センサーに対する優位性

01 現場適応
現場をそのまま使える

既存の足場･道具の改修なしで利活用

02 物理作業
点検＋作業を一台で

資材搬送･部材の押さえまで一台で対応

03 技能継承承
技能をデジタル資産化

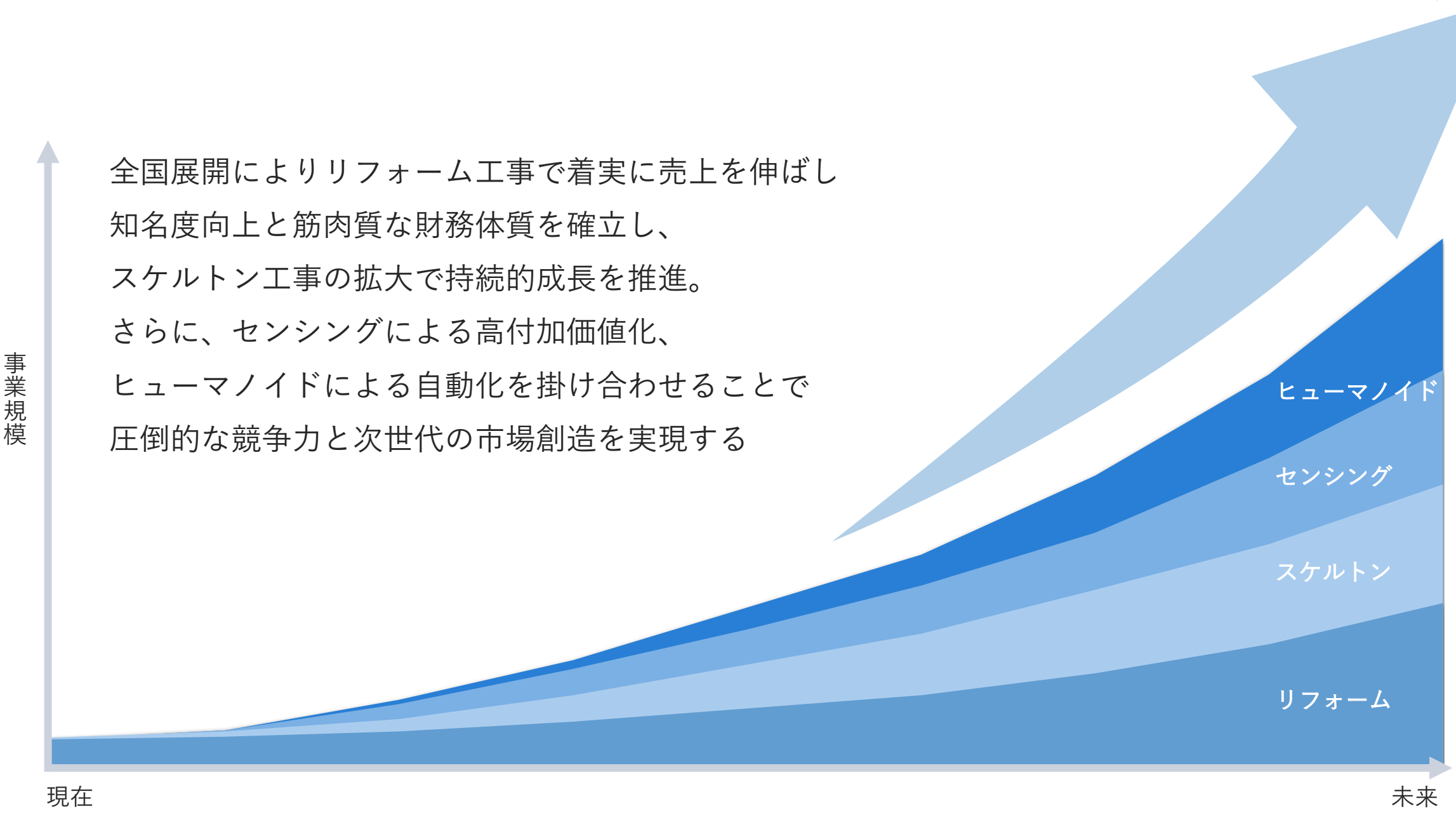
VLAで職人の技能を学習・複製展開

固定IoT・ドローンは“観測”に留まる。ヒューマノイドは“観測+作業+技能継承”を一台で実現する

担当者の現地往来と危険個所への立ち入りを大幅に削減する

中長期的な成長のイメージ

全国展開によりリフォーム工事で着実に売上を伸ばし
知名度向上と筋肉質な財務体質を確立し、
スケルトン工事の拡大で持続的成長を推進。
さらに、センシングによる高付加価値化、
ヒューマノイドによる自動化を掛け合わせることで
圧倒的な競争力と次世代の市場創造を実現する



利益計上体質のための経営指標

- ✓ 売上高経常利益 **10％以上**
- ✓ 自己資本比率 **50％以上**
- ✓ ROE **8％以上**
- ✓ PBR **1.0倍以上**

目次

会社概要・ビジネスモデル

業績

市場環境

当社の優位性と成長戦略

トピックス

テックビルド株式会社との合弁会社設立に向けた契約締結

【アライアンスによる受注力・施工体制の強化】

① 成長戦略上の位置付け

両社の営業・施工基盤を融合し、既存事業の受注構造を強化

② 具体的な取り組み

株式会社エムビーエス
外装改修工事
営業・施工ノウハウ

50：50
共同出資
各2,000万円

テックビルド株式会社
足場工事 ／ 仮設機材
足場施工力・営業基盤

株式会社ジェイピーズ（2026年12月設立予定）
当社の持分法適用関連会社となる予定

③ 事業シナジー

新規受注機会の拡大
両社の営業基盤を活かした案件開拓

施工管理の効率化
足場と外装工事の工程管理一元化

顧客利便性・施工品質向上
窓口一元化と施工体制の高度化

中長期的な業績・企業価値向上を目指す

※合弁会社設立・運営及び事業効果は今後の予定・見通しです。現時点で業績への影響は未算定。

免責事項

本資料は、当社の事業内容及び事業戦略に関する情報の提供を目的とするものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘する目的としたものではございません。

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。従いまして、実際の業績が本資料に掲載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを予めご了承ください。